

東朋会ミニ通信

発行者 香川 修司
 連絡先 事務局 島津 晃
 0467-73-0515
 小倉進・三井所信夫
 編集者 島津 晃



元相模事業所跡地 5月の状況

【会員情報】 (敬称略)

会員 442名(5/11現在)
 新入会員
 須之内 明子(3/28)
 林 隆則(3/29)
 木下 俊(4/6)

第90回東朋会理事会報告

5月11日(木)

議事

- (1) ミニ通信5月号発行と計画
- (2) 高齢者防災プロジェクトの取組
- (3) 防災ファイル改訂版(増刷版、追補版)を5月末配布。ミニ通信5月号に同封。
- (4) 第11回芸術能大会計画
- (5) 5月27日(土) 準備日程・担当者確認・会場設営。
- (6) 第9回総会・懇親会
- (7) 10月5日(木) 実施内容と予算案
- (8) 2016年度会費
- (9) 未納者督促と対応。
- (10) 個人情報保護法取り扱い、及び東朋会への導入並びに規約検討を行う。
- (11) 第1回選挙管理委員会発足と役員改選(理事・評議員・他)諮問の件
- (12) 新年度の骨子案(活動纏め・新規方針・骨子)
- (13) シニアライフの生活実態調査

報告事項

「調査」を行い、今後の事業の基礎としたい。本調査は無記名で実施する。

(1) 古希の集い

3月11日(木)11名参加
 (会員以外2名含む)

(2) 京浜OB会

花見 3月31日(日)
 21名参加緑ヶ丘霊園、及び上平間第3町会会館。

(3) 湘南OB会

花見 4月8日(土)
 55名参加、雨のため、湘南クラブハウスにて実施。

(4) ミニ通信3月号発行

3月31日発送済み。

(5) 会計報告(3月〜4月分)

資金運用状況報告(3月、4月度)

(6) 2017年度、選挙管理委員の推薦。

クラブハウス管理について使用方法の明確化。

(7) 使用方法的明確化。

☆慶弔見舞金制度
 17年3〜5月対象者確認。

トリーホーライフ

梅原 義晴 氏(89歳)
 和雄 氏(70歳)
 内海 和雄 氏(70歳)
 (4/21没)

訃報

平和を考える・・・戦後72年

理事長 香川 修司

私は昭和 20 年生まれです。今日此の頃は、青葉若葉が香る1年で最も命あふれる良い季節ですが、昭和 20 年だけは残酷な季節でした。

南方戦線の敗退(戦死者 159 万人) 3 月の東京大空襲(10 万人以上)5 月に沖縄戦(県民 9 万 4 千人を含めて 19 万人) 8 月の広島・長崎の原爆により(20 万人)満州引き上げ者(24 万人)と太平洋戦争全戦死者 310 万人の大半が亡くなっているのです。母からよく聞かされました。空襲、食糧難の中で「この子はとても育たないと思った」

反省から民主制・基本的人権の尊重・平和主義の憲法が生まれて 70 年、特に私達の世代は戦争に会わないで、経済的發展を享受できたのです。

今日の私たちを取り巻く状況は、北朝鮮の核ミサイル武装、中国の対外拡張、ロシアの領土返還の逆進、世界的にはイギリスやアメリカの自国第一主義の主張が大手を振っています。対立する主張により軍事衝突の危険が大きくなっています。これからの時代の戦争には犠牲者の規模が大きく、軍事衝突は、英知を働かし、どうしても避けなければなりません。

これからの東朋会は変化している時代を理解し、シニアライフの平和と生活の確保を目指し、事業を進めたいと思います。

東朋会事務局からのお願い

シニアライフの生活実態調査を実施します。目的は、生活実態調査の結果から、東朋会の今後の事業の基礎にしたいと考えています。調査は無記名方式で行いますので、ご協力をお願いします。同封の返信用封筒(切手貼付済)でお返し下さい。

季節雑感

麦秋に向けて

田 雑 峯 一

最近では身近に感ずる事がなくなつた麦秋畑、私は4年程前から地元生産者・製粉所・パン屋の3者で始めた「麦踏み塾」をお手伝いしております。

元は今から16年程前に、



伊勢原にて開業したパン屋さんから始まった「地消地産でパンを」という事から、小麦栽培を委託したパン屋さん自身が、香りと旨味を最大限に活かしたこだわりの製粉をし、その粉を活かして製パンしている。

そんな店主が若くして亡くなり、その意志を継いだ弟子が、既に忘れ去られていた

麦踏みの子供たちに体験させてやりたいと始めたのが「麦踏み塾」です。

今年2月11・19日と麦踏みを開催しました、子供たちは「畑に入って良いの」「どうして踏むの」といいながら、普段入ったら怒られる畑の中を、駆けずり回り楽しんでいる姿を見ると、遠い昔経験した麦踏みを思い出します。

小麦は価格の安い外麦に押され、生産しても採算が取れず衰退の一途をたどってきましたが、ここに来てパンにむく品種が開発され、又健康ブームで国産小麦を使ったパンをとというパン屋さんが増えてきました。

そんな中でも、製粉にこだわり石臼で時間を掛けて(約9回転/分)香と旨味を引き出す粉を「湘南小麦」としてブランド化を進め、都内のパン屋さんを中心に使用してくれる店舗が増えてきております。

ミニ通信5月号が皆様の御手許に届く頃には、麦畑も黄金色に輝く麦秋となり麦刈りをする季節になりますが、5月28日には麦刈り

を皆でして、エビ(麦の穂飾り)を作るイベントがあります。エビを作り家に飾って、食しているパンがこの小麦から出来ているという事を感じてもらっています。



石臼製粉プラントから生まれる湘南小麦

そして手前味噌となりますが、近年はテレビや新聞にも取り上げられる行事となつてきており、これからも息長く続けられる様応援していくつもりです。

最後にパン屋さんの宣伝をさせて下さい。店名は「ムールアラムール」と言い、246と大磯伊勢原線の交差点板戸の近くです。(電話0463-57-3085)お近くに行く機会がありましたら是非覗いてみて下さい。

健康の話

荒井副理事長

我が国の60歳以上の人口比率が、26%を超えてきました。現在では高齢期を如何に健康で過ごすかが課題とされ、心身の病気などがなく元気に過ごせる健康寿命が重視されています。そこで健康寿命を延ばすためのポイントを紹介してゆきます。



(その3) 中程度の運動認識機能低下を防ぐ運動方法を第5面に取り上げました。

年金の話

久玉副理事長

特定社会保険労務士 武澤健太郎氏ご紹介の知らない損をする！年金4つの豆知識の残り3、4、項を第6面に転載いたします。

家族皆さんの知識としてご利用ください。



高齢者と車社会

「高齢運転者の交通安全対策」どうも世の中は高齢者を目の敵にして、自動車運転から遠ざけようと思えてならない！それもその筈、巷では高速道路の逆走などが後を絶たず、死者も出ている。◆高速道路の逆走では相手をかわそうとして、左に右に？お互いが80km/hで走っていると相互速度は160km/h、凡人が相手をかわせるのは限りなくゼロ、訓練を積んだスタントマンでさえ困難。逆走と気が付いたら右に寄って止まりましょう。◆そんな訳で道路交通法が改正され、加齢による認知機能の低下に着目した臨時認知機能検査制度や臨時高齢者講習制度の新設、その他制度の見直し等が行われ、施行されています。◆平成26年度中に75歳以上が起した死亡事故(471件)のうち事故を起こす前の受検していた438人の認知機能検査の結果を見ると4割以上が認知症の恐れ、認知機能の低下のおそれがあることが分かったそうです。◆認知機能検査は、時間の見当識(現在の年・月・日・曜日・時間)、手がかり再生(絵を見せられて後に何があつたか書く)、時計描画(アナログ時計に指定された時刻を書く)があるそうです。今から認知機能を鍛えよう。